

## マージャンを通して 笑顔あふれる社会を

山田和弘さん



「社会貢献」とは、世の中に笑顔の人を一人でも増やすこと—そんな風に理解した。その手段は、寄付であったり、労力の提供であったり様々だが、それを「健康マージャン教室」の開催で実現しようとしているのが山田和弘さん(63歳)だ。一見結びつかないような気もするが、その思いは純粹で深い。定年まで勤め上げた後、潔く実業の世界から身を引き、私財を投じて市民活動団体「健康マージャン おおがき」を立ち上げた。

「社会貢献」について強く意識するようになったきっかけは、教師を目指していた娘さんが児童養護施設に就職したことだった。悲しい背景を持つ子ども達に何とか笑顔をよみがえらせたいと思うようになった。

そんな時に出会ったのが「特定非営利活動法人健康マージャン全国会」の理事長だった。その時の会話が「社会貢献」と「健康マージャン」が結びついた瞬間だった。

マージャンと言えば、VIVO世代にとつて、そのイメージはあまり健康的なものではないかもしれない。だが、純粹にゲームとして見た時、これほど奥の深いゲームはほかにないのではないかと。

- お金を賭けない
- お酒を飲まない
- たばこを吸わない

の3つをスローガンとし、場所は公共施設を使用するなど、特に女性に対する配慮はきめ細かい。なぜなら、これまでマージャンをしたことのない女性に知ってもらうということが一つの目標でもあるからだ。

山田さんは、高齢化社会を引っ張っていくのは紛れもなく女性であると思っている。週に一度の教室に、ちょっとおめかしをして参加する女性たち。プレイ中は指を動かし、4人でおしゃべりをして、何とか勝負についていくように頭を目いっぱい使う。これが高齢化社会を生き生きと生きていくための一助になることは間違いない。

入門講座では、経験のない人にもわかりやすくきちんと教えてくれる。「健康マージャン全国会」が発行するテキストは、ポイントを集約したシンプルなものだが、それを山田さんがユーモアを交えて楽しく工夫を凝らした講義をしてくれる。20分ほどの講義の後は実践。数名の教育を受けたスタッフがテーブルの間を巡回して、いつでもアシストしてくれる。



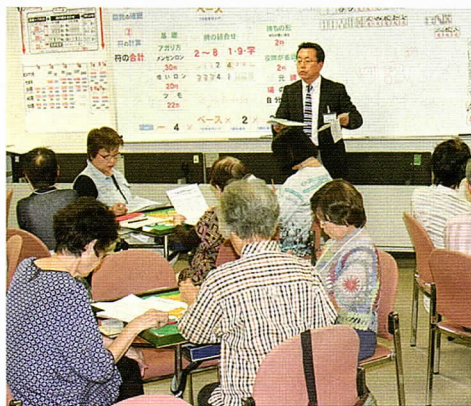
▲頭をフルに使う健康マージャン

入門講座は、受講生の8-9割が女性だが、11月3日に初めて岐阜市で開催された「岐阜市長賞争奪戦」には64名が参加し、ほぼ男性で埋め尽くされた。女性が多い日常の教室とは面白い対比だ。すでに代表に決まった大垣教室の10名とともに戦う岐阜県選抜を経て、上位4名が全国大会へ出場することになる。

目指すべき目標もすっかり持つていくといつのことだ。

山田さん自身、社会貢献という大きな目標に向かって、生き生きと活動を続けておられる。岐阜市で教室を立ち上げるときにはとても苦労をされたとか。毎回の教室の準備、後片付けなど、その労働も相当なもの。場所代などの出費もかなりの額になると思われる。まさに私財を投じての活動だ。それでも、何事もないかのように、大きな声で明るく楽しい山田さんの講義が続く。

4月からの岐阜教室の開講も予定されている。これまでのイメージを払しょくして、新たな世界へ挑戦してみるのが一考。



▲入門講座の様子

### お問い合わせ

岐阜県健康マージャン協会

代表理事 山田和弘

電話 090-8868-7313

Mail info@mahjong-gifu.com

URL <http://www.mahjong-gifu.com/>